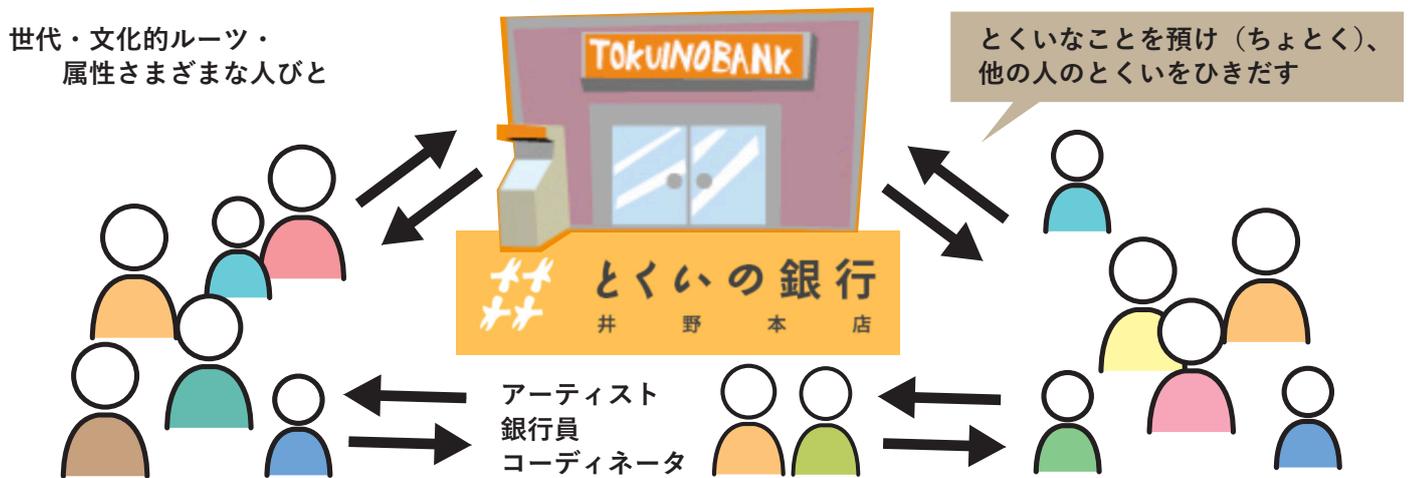


創造的活動・コミュニティ参画・ウェルビーイングの循環的自生 郊外団地における「とくいの銀行」実践研究

●本企画で試みること



あずけたり ⇄ ひきだしたり
自分自身の「とくい（得意・特異）= uniqueness」を接点として、
役割が入れ替わるコミュニティが地域社会に生じる

↓
そのような関係性の変化を楽しめるコミュニティの醸成がなされたとき
各個人に生じる心理的変化や行動変化を測定し、
「文化的処方」のケーススタディとして検証する

●活動のプラットフォーム・事業実施基盤



いこいの+TAPPINO（井野団地お休み処）

健康な高齢者を見守りながら、多様な世代が共に時間を過ごし、お互いに見守りを実現することを目的とした施設。取手市高齢福祉課との連携事業として、取手井野団地自治会・取手地区民生委員、申請者である NPO 法人 TAP オフィスが共同で運営している。利用者は1日100円を寄付し、出入り自由でお茶などを片手に対話を楽しむことで緩やかに見守りを実現することを目的としている。近年は、地域の方々と一緒にとりくむ子ども食堂や、地域の祭りなどへの参加など、地域のプレイヤーのひとつとして地元とのネットワークを土台に活動を進めていると共に、地域コミュニティを活性化するハブとなるために UR 都市機構との連携もおこなっている。

同拠点の管理を担う NPO 法人と連携し、本企画研究を行う。地域で行われる共創型アートプロジェクトが可能性として持つ、それぞれのウェルビーイングを支える場づくりを実証することを目指す。